

あなたには、よい ところが
たくさん ありますね。



足が
はやい



みんなと
なかよし



本を
たくさん
読む



ともだちに
やさしい



みんなに、すてきなよいところが
自分のよいところを
見つけて みましょ。あります。

●自分のよいところを
書きましょ。

2年

Blank writing area with vertical dashed lines for a 2-year-old student.

1年

Blank writing area with vertical dashed lines for a 1-year-old student.

●家の人に
あなたのよいところを
書いて もらいましょう。

2年

Blank writing area with vertical dashed lines for a 2-year-old student.

1年

Blank writing area with vertical dashed lines for a 1-year-old student.

よいところを見つけたよ

1年

1年

1年

● 「わたしたちの道徳」を
交かん し合って、
ともだちに あなたのよい ところを
書いて もらいましょう。

2年

2年

2年

● あなたのよい ところを 読んで、
考えた ことを 書きましょう。

やり方

① 三、四人の
グループを つくりまます。



② みんなのよい ところや
すてきな ところを、
一つずつ 考えまます。



③ 考えた ことを、ともだちの
「わたしたちの道徳」に
書いてあげまます。



ともだちには、
どんなよいところか
ありますか。

● ともだちと、よい ところを
教え合いましよう。

町子が 小さい ころに すきだった
あそびは、家にある ノートに、絵を
かく ことでした。

町子は、小学生になると、絵を かく
ことが ますます すきに なりました。

そして、
(大きく ならたら、絵の 勉強が したい。)
と 思うようになり ました。

町子が 十三さいになり、中学生になると、毎日、「花見」や「田うえ」、
「海水よく」の ことなど、自分の すきな ことを 絵に かくようになり
ました。



そのような とき、いつも やさしかった お父さんが、なくなり ました。
町子は、絵を かく 気もちに なる ことが できずに、毎日 ないて
ました。

その 様子を 見た お母さんは、
「町子は、絵が とても じょうずです。それは、生まれながらに もって
る りっぱな 力です。きっと、多くの 人たちに みとめられるようにな
ります。」
と 言いました。

その 言葉を しんじて、町子は 絵を かきつづけました。
しばらく すると、町子は、まんがにも きょうみを もつようになりまし
た。

しかし、いつも うまく まんがを かく ことが できた わけでは あり
ません。



おもしろい ことが 思いつかず、

(わたしには、まんがを かく 力が ないんだ。)

と、かなしく なった ことも ありました。

そのような とき、お母さんは、いつも 町子に 言いました。

「町子には、生まれながらに 絵を かく りっぱな 力が ある。」

この 言葉を 聞いて、町子は、また、まんがを かきはじめるのでした。

大人に なった 町子は、新聞に のせる

まんがを かく ことを たのまれました。

町子は、まんがに どのような 人を

かこうかと なやんで いました。

町子は、家の 近くの 海岸を さんぽ

して いた ときに、海の 生きものの



名前を つけて まんがを かく ことを 思いつきました。

そのように して 生まれたのが、「サザエさん」です。

「サザエさん」は、子どもから 大人まで、みんなに あいされる まんがに なりました。

「人には 一人一人、その 人で なければ ならない しごとが あります。そして それは、本当に しあわせな ことだと 思います。」

これは、町子の 言葉です。町子は、この 言葉を 大切に して、なくなるまで 自分の すきな まんがを かきつづけました。

長谷川 町子

「サザエさん」など、多くの まんがを 作った まんが家。

してよいわけと しては いけない
わけを 考えて みましょう。



長なわとびが 苦手な ともだちは、
なかまに 入れて あげない。



学級会で、なかがよい ともだちの
意見には いつも さんせいでする。

みんなと なかよく

うしろ へいへい、うしろ へいへい、うしろ へいへい、うしろ へいへい、うしろ へいへい。



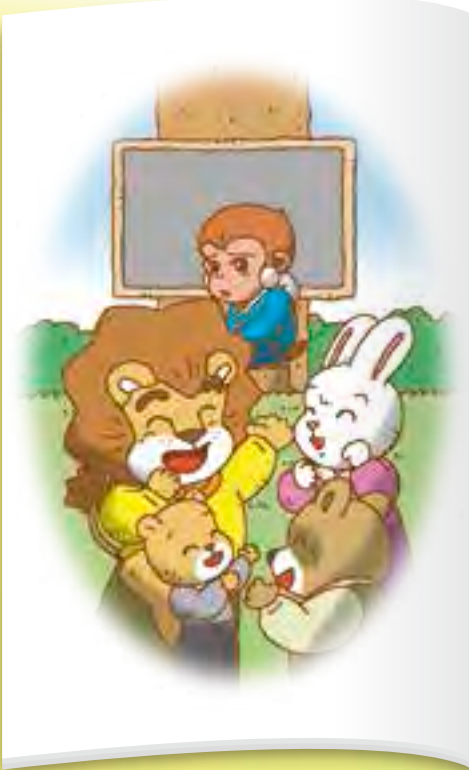
じゅん番を まって いる れして
ならはない ともだちを、さっさとあなうけする。



なかがよい ともだちに たのまれたから、
きゅう食を たくさん 入れて あげる。

あなたが うさぎさんだったら、どうするでしょう。

おさるさんと ライオンさんと
うさぎさんは、
同じ 学級の ともだちです。
でも、少し 前から
おさるさんの 元気が ありません。
どうやら 学級の みんなから
なかまはずれに されて いるみたいです。



ある日、うさぎさんは、
おさるさんに 元気を 出して
ほしくて 話しかけました。
すると、それを 見て いた ライオンさんに、
「うさぎさん。どうして、みんなと いっしょに
おさるさんを なかまはずれに しないの。」
と 言われました。



つぎの 日、うさぎさんは、おさるさんに
「いっしょに あそぼう。」
と さそわれましたが、聞こえない
ふりを して、ライオンさんの
ところに 行きました。
でも、なんだか もやもやした
気もちに なりました。



● うさぎさんは どう すれば よかったのか、
考えた ことを 書きましよう。
書いた ことを、みんなと 話し合いましよう。

どう すれば よかったのか

そう 考えた わけ

Two large rectangular boxes with dashed lines for writing, one for 'どう すれば よかったのか' and one for 'そう 考えた わけ'.

ほかの 国の ことを 知ろう

あなたは、オリンピックや
パラリンピックを 知っていますか。

● オリンピックや パラリンピックについて、
あなたの 知っている ことを、
ともだちや 家の 人と 話し合みましょう。



二〇二〇年に 日本にっぽんの 東京とうきょうで、
オリンピックが あります。
オリンピックと いっしょに、
手てや 足あし、目めなどに しょうがいがある 人が さんかする
パラリンピックも あります。
オリンピックや パラリンピックには、
いろいろな 国くにの 人が あつまります。
それぞれの 国くにでは、
話す 言葉ことばや きる ふく、
食べる 物もの、すむ 家いえが ちがいます。
その ちがいを こえて、
みんなが 力ちからを 出だし合あう
スポーツの おまつりです。

ほかの 国から
きた ものを
見つけて みまじょう。



● ほかの 国から きた ものを、
もっと さがして 書きまじょう。



2年

1年

せかいには、いろいろな あいさつが あります。
それぞれの 国で、あいさつの 仕方が ちがいます。

モンゴル国では

サエンバエーン

日本では

こんにちは

インドでは

ナマステ

アメリカ合衆国では

ハロー



● 六十四、六十五ページの
せかいの「こんにちは」、「ありがとう」も
見て みまじょう。

道徳で 学習したことを書きまじり

1年

月 日

● 学習したこと

● 家の人から

1年

月 日

● 学習したこと

● 家の人から

2年

月 日

● 学習したこと

● 家の人から

2年

月 日

● 学習したこと

● 家の人から

先生やお話を 読んで心にのこったことや、
 先生やともだちと話を して考えたことを、
 思い出して みましよう。

ページ	タイトル等	原作者等	出典等
16	るっぺ どう したの	小林陽子	『小学校 読み物資料とその利用「主として自分自身に関すること」』文部省
33	武者小路実篤の言葉	武者小路実篤	『武者小路実篤全集 第十巻』小学館
48	お月さまと コロ	生方 勝	『小学校 道徳の指導資料とその利用 2』文部省
68	たすけ合って 生きる	日野原重明	『「京の子ども 明日へのとびら」小学校・低学年編』京都府教育委員会
70	はしの 上の おおかみ	奈街三郎	子どもの文学研究会編『読んでおきたい物語 やさしい心の話』ポプラ社
78	およげない りすさん	小野瀬 稔	『小学校 道徳の指導資料とその利用 3』文部省
94	おはかまいり	河合雅雄	『「こころ はばたく」兵庫県道徳副読本 小学校1・2年』兵庫県教育委員会
96	ハムスターの 赤ちゃん	和井内良樹	『小学校 読み物資料とその利用「主として自然や崇高なもののかかわりに関すること」』文部省
124	黄色い ベンチ	千葉県道徳評価研究会	『小学校 道徳の指導資料とその利用 1』文部省
154	ぎおんまつり	植田清宏	『小学校 文化や伝統を大切に作る心を育てる』文部省
162	まんがが すき ーまんが「サザエさん」を作った長谷川町子ー		『サザエさんうちあけ話』姉妹社 『長谷川町子思い出記念館』朝日新聞社

これからも ともだちを たくさん つくろう
 きれいな ものや ふしぎな ものを 見つけよう
 学校^{がっこう}や 町^{まち}で いろいろな 人^{ひと}と ふれ合^あおう
 そして、心^{こころ}も 体^{からだ}も 大きく して いこう

わたしたちの **道徳** 小学校1・2年

発行 文部科学省
〒100-8959
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

表紙 本橋靖昭
 有限会社 カノウデザインオフィス
 デザイン 有限会社 カノウデザインオフィス
 株式会社 あいげん社
 イラスト あべつせこ、清田貴代、島田コージ、藤田ひおこ、毛利洋子、本橋靖昭
 写真 文溪フォトサービス、NNP、amana images、アフロ、愛媛県立とべ動物園、フォート・キシモト、共同通信社、長谷川町子美術館
 取材協力 NPO法人 日本アンリ・ファープル会

保護者の方へ

- この本は、子供たちが人として心豊かに生きていくことができるようになることを願って、作成したものです。
- 学校では、道徳の時間やその他の学習活動を通じて活用します。
- 御家庭でも、この本を開いて、一緒に考えたり話し合ったりして、子供たちの豊かな心の成長に役立ててくださいますようお願いいたします。

日本音楽著作権協会（出）許諾第1316024-504号